

## ⑥ 学生の自主活動

### ウッドデッキ築造プロジェクト

文教キャンパス

「夢募集」企画大賞

ウッドデッキ築造プロジェクト(前編)

# 夢のキャンパス

生協食堂のお昼どきの混雑を  
解消してほしい。

そんな文教キャンパスの学生たちの  
長年の願いがかなう日が  
やってきました。

はじまりは工学部のひとりの  
学生の発案から。

間もなく、志をひとつに

学部を越えて集まった

学生たちによりて

プロジェクトは始動しました。

全国的にも類を見ない

学生発のチャレンジを

2回シリーズでお届けします。



### 【学生の力で何とかしたい】

入学以来、毎日のように利用してきた生協食堂。お昼どきはたいへん混み合い、多くの学生が混雑解消を願っていました。生協食堂の東側には雑草に覆われた広いスペースがあり、うまく使えば混雑の解消につながる。土木・構造・環境を学んでいる私にとってこの場所にウッドデッキを築造することについてはごく自然な発想でした。3年生の夏、ものづくりが好きで工学部の仲間にもその話を持ちかけたところ、「やるしかない」と、みなが賛同し、すぐに動き出すことになりました。

長崎大学には「夢募集」という、学生の夢の実現を応援する学内公募があります。選ばれたら私たちの夢が実現できると思い、「ウッドデッキ築造」の企画書をつづけて提出し、最終選考会まで残り、発表をしました。その結果、企画大賞を受賞。実は応募前、大学の施設を学生がつくることは前例がなく、制限も多かったことから、実現はむずかしいというのが周囲の意見でした。それにも関わらず、企画大賞をいただいたのは、自分たちの力で何とかしたいという熱意が大学に伝わったからだと思います。それを受け止めてくれた学長、副学長、審査員の先生方にとっても感謝しています。

これを機に、学部を越えて多くの同志が集い、まさに大学が一つとなって、プロジェクトは本格的に始動したのです。



ウッドデッキ築造の発案者  
プロジェクト代表  
松本 峻さん  
(工学部4年)

【ウッドデッキ築造プロジェクトのホームページ】[http://starleague.web.fc2.com/nagasaki\\_univ/index.htm](http://starleague.web.fc2.com/nagasaki_univ/index.htm)

## 作業の流れ

DATA 工期：平成21年9月～平成22年3月  
デッキの広さ：300㎡(130人収容)  
デッキ材：レッドシダー、杉(熊本、宮崎産)



### 【大学の施設をつくるということ】

生協食堂の混雑は、大学にとっても長年の懸案事項のひとつでありました。私たちのプロジェクトはまず、大学の施設部の応援を受け、設計や見積もりの作業を入念に行いました。学内の施設はすべて大学が管理することになるため、築造に際して安心・安全な建築物としてのさまざまな基準を守らなければなりません。しかも今回は130人収容の巨大なウッドデッキの建設ということで、大学の施設部の方と何度も会議を重ねる中、私たちの設計は厳しいプロの目にさらされ、さまざまな変更を余儀なくされました。さらに、設計をより屈強なものとしたことで、予算も当初の計画の3倍近くにまで膨れ上がりました。自分たちの計画とはいえず、動き出した現実に、身が引き締まる思いでした。

### 【全国初のチャレンジ】

学生が大学の施設の建築を企画し、大学側が学生に仕事を任せるという事例は他にはありません。全国初の快挙です。作業前には代表自ら段取りをし、朝礼において、安全を確認して作業を行うことをみんなて約束し、現場に入ります。仕事は、全員が力を合わせたこと、何とか順調に進み、完成も間近に迫っています。

私たちのチャレンジは、大学の教職員や地元の木工所の方など多くの方々の支えと励ましに大きく支えられています。このような機会を与えていただき、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。本当にありがとうございます。  
JYU-UP。

(平成22年2月現在)



文教キャンパス

「夢募集」企画大賞  
ウッドデッキ築造プロジェクト(後編)

平成22年4月1日、長崎大学文教キャンパス生協食堂に、「ウッドデッキ」が完成しました。発案からデザイン、築造まで、全て学生たちの手によって行われた全国初のプロジェクト。後編では、完成までのラストスパートを紹介します。

◎食堂の混雑を解消したい

平日のお昼時は大混雑していた文教キャンパス生協食堂。この混雑を解消すべく「ウッドデッキ築造プロジェクト」が立ち上がりました。工学部4年生の松本さんの発案で、生協横の空き地にウッドデッキを作り、大賑わい席を増やそうという企画です。着工は昨年10月。基礎コンクリートの打設や基礎石の設置、木材の防菌処理などの作業を経て、ようやくウッドデッキの全貌が明らかになった12月下旬までを前回紹介しました。

◎ウッドデッキ細部の製作から完成まで

今回はその後編として、床板や手すりの設置、テーブルや椅子製作の様子、そして完成までを、このプロジェクトに関わったメンバーの感想とともに紹介します。実際、今年1月、9年ぶりに長崎を襲った大雪のせいで作業が中断しなると、思わぬアクシデントもありました。しかし、実作業を通してしか見えてこないもの、味わえない充実感と感動、何より、自分たちが主体となって取り組むプロジェクトが、完成に近づく喜びが後押しし、プロジェクトに携わった学生たちは常にバイタリティーに燃れていたようです。学生間でも好評のウッドデッキ。皆さんもぜひ一度訪れて、手作りならではの味わいやゆめくもりを満喫してください。



「ウッドデッキ」築造に取り組んだ  
主要メンバー

県外の人たちも注目しています

主にホームページの制作・運営などを担当しました。県外の方からのアクセスも多く、メンバーの1員として、ものづくりの喜びを共有でき、うれしく思います。



ホームページ制作・運営担当  
藤田 京康さん  
(工学部4年)

新しい発想で挑んでください!

机上の学びだけでは味わえない有意義な経験ができました。後輩のみなさんにはぜひ、私たちの発想を超えるプロジェクトに挑んで欲しいですね。



プロジェクト副代表  
小野原 公一さん  
(工学部4年)

「工学」の大切さを改めて肌で感じました

実作業をするうちに改めて工学の大切さを肌で感じるようになりました。だけでなく、多くの人々と出会い、互いに協力し合うことで活力となり、ひとつの目標を達成することができました。大学生活において貴重な体験をさせていただいたことに、心から感謝しています。



ウッドデッキ築造の発案者  
プロジェクト代表  
松本 綾さん  
(工学部4年)

### 作業の流れ

**1月** ●長崎県に9年ぶりの大雪  
7cmほどの積雪で床を揺る前に仮置いた状態のウッドデッキもすっかり白一色に。このときは作業も中止し、降雪作業。

**2月** ●「床板」完成  
床板の点検。乗ってみて不安定な箇所は補強し、安全性を確認。

**3月** ●「階段」仕上げ・完成  
●「手すり」製作  
立て板中央の穴に穴あけ作業で階段板に合わせた手すりを!

**24日** ●テーブルチェア製作

**25日** ●植入

**29日** ●最終確認

**4月** ●オープニングセレモニー

**2010 4/1日** オープン!!  
2010年4月2日入学式

●テーブルチェア製作 (有)中村木工所 Jukan-Jukan工場にて  
内材の角を丁寧に削り、組み立て。移動が簡単に行えるよう、あまり重量のない木材を使用しています。

●植入・花植え  
できあがったテーブルチェアも4枚ラックいっしょになるまで組み込み、いざ植入!29本のテーブルチェアを配置。夕方近くには、本学環境サークルの「じゃすみん」による協力のもと、花壇の花植え作業を行い、全体の具入れも完了した。

●最終確認  
メンバー全員で最終確認。中村社長がテーブルに記念の旗が刺しプレゼント。

●オープニングセレモニー  
得たかったオープニング地盤。片種芝草も出たため、様々な関係者も駆けつけ、盛大に行われました。

**プロの視点で的確な助言をいただきました!!**  
(有)中村木工所 Jukan-Jukan 社長 中村 伸一さん  
松本君との出会いは約1年前。「大学にウッドデッキを作りたい」と、私を訪ねて来たのが始まりでした。様々なインスピレーションがあったでしょう。例のつながりもない私のところにこのプロジェクトの相談を持ちかけて来たことには本当に驚かされましたね。「こんな大学生がいるのか?」「発注者は大学側ではないのか?」「そもそもこの計画は本当に実行できるのか?」私の不安をよそに前代未聞の工事は着々と進みました。こんな工事は私自身も今まで経験したことがありませんでしたが、完成したときは「やってよかった」と感じずにはいられませんでした。彼らの情熱の結晶。これからも大切に使用してあげてください。

工 種	使用木材	使用部材	数量(本)
平成21年9月~平成22年3月	2x4(レッドシダー)	床板、階段	510
	2x4(レッドシダー)	手すり	13
デッキの扉	2x4(レッドシダー)	手すり	15
	150mm角材(杉)	板、梁	47
デッキ材	120mm角材(杉)	手すり柱	13
	150x75mm角材(杉)	食卓用延長受け	3
	60mm角材(杉)	橋本、階段梁	130

○木材総計:850本 ○使用ビス総計:約1万本

長崎大学ウッドデッキ 検索 [http://starleague.web.fc2.com/nagasaki\\_univ/](http://starleague.web.fc2.com/nagasaki_univ/)

テレビにも  
取り上げられました!!

「ウッドデッキ」着工からオープンまでの様子は、テレビ「テレビ長崎「スーパー特選」学生のプロジェクト」(2010年4月8日放送)にも取り上げられ、各所から反響を呼びました。

「ものづくりの楽しさ」を学びました

**尾崎 博和さん**  
(工学部2年)

先輩方から、ものをつくる「楽しさ」を学びました。今回の経験から自分たちが中心になって、このプロジェクトを起える何が成り立っているかと思っています。

やりたいことから考えよう

**六倉 賢太さん**  
(工学部4年)

「やりたいこと」を先に考えることが大切だと改めて思いました。「やりたいこと」があるから「やらなければいけないこと」がはつきりします。それは苦しくても目標達成の原動力になります。

学生だから、やればできる!

**中野 一也さん**  
(工学部4年)

「学生でも何かできる!」ということを伝えたくて、モノづくりをしながら、記録を残しました。出来上がったときの感動は一生の思い出です。

不安や戸惑いを乗り越えて

**川端 将太郎さん**  
(工学部4年)

プロジェクトでは主に実作業を行いました。最初は同じ作業の繰り返しで終わりが見えない不安があったり、慣れない工具の使い方に戸惑ったりしましたが、徐々に覚悟が増大しました。



### 学生サークル「っじゃすみん」のリユース市

環境をテーマに活動している学生サークル「っじゃすみん」は創設以来毎年リユース市を開催しており、今年も3月末に開催した。卒業生の残っていた家具・家電などを新入生に引き継いでいくことにより有効利用を図ろうとするものであり、新入生にも喜ばれている。



### チャリ再生法研究会の自転車再生

「自転車再生員会」として活動してきたが今年から「チャリ再生法研究会」として学内サークルに登録された。学内に放置されている廃自転車を修理再生し、再活用を図るための活動を続けている。

